

# 2024年度（2025年2月期） 通期決算説明資料

2025年4月4日



**1**

2024年度の決算概要

**2**

2024年度のトピック紹介

**3**

2025年度の業績予想



## 2024年度の決算概要

# 1. 業績サマリ



- 売上は前期比8.2%減少し19,950百万円。中国向け・日本向けの売上減少が主因。
- 販管費は前期比で626百万円減少したが、売上減少・原価率上昇の影響をカバーできず営業利益は赤字。

(単位：百万円)	2022年度		2023年度		2024年度			
	金額	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
							増減額	増減率
売上高	26,505	21,737	100.0%	▲18.0%	<b>19,950</b>	100.0%	▲1,786	▲8.2%
売上総利益	5,753	4,605	21.2%	▲20.0%	<b>2,643</b>	13.3%	▲1,961	▲42.6%
販売費及び一般管理費	3,949	3,577	16.5%	▲9.4%	<b>2,950</b>	14.8%	▲626	▲17.5%
営業利益	1,803	1,027	4.7%	▲43.0%	<b>▲307</b>	▲1.5%	▲1,334	—
経常利益	2,219	1,427	6.6%	▲35.7%	<b>▲149</b>	▲0.7%	▲1,577	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,665	1,378	6.3%	▲48.3%	<b>▲788</b>	▲4.0%	▲2,166	—
1株当たり当期純利益	101.21円	52.23円	—	▲48.4%	<b>▲29.78円</b>	—	▲82.01円	—
設備投資額	722	373	—	▲48.2%	<b>767</b>	—	+393	+105.4%
減価償却費	848	814	—	▲4.0%	<b>845</b>	—	+31	+3.9%
ROE	8.5%	4.1%	—	—	<b>▲2.3%</b>	—	—	—

## 2. 売上の推移（地域別）

- 中国・日本向けの売上が大きく減少。日本向けの売上は5期連続で減少。
- アジア向け売上の増加は、インドがけん引（前期比+1,029百万円）

▲：前年度と比較して増加

▼：前年度と比較して減少

(単位：百万円)	2022年度		2023年度			2024年度			
	金額	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
								増減額	増減率
日本	5,421	▼ ▲11.2%	4,718	21.7%	▼ ▲13.0%	3,828	19.2%	▲ 889	▼ ▲18.9%
中国	9,549	▲ +28.1%	5,816	26.8%	▼ ▲39.1%	3,506	17.6%	▲ 2,309	▼ ▲39.7%
アジア	6,519	▲ +20.4%	5,061	23.3%	▼ ▲22.4%	6,102	30.6%	+1,040	▲ +20.6%
欧州	2,621	▲ +35.7%	2,792	12.8%	▲ +6.5%	3,013	15.1%	+220	▲ +7.9%
北米	1,145	▲ +195.0%	1,160	5.3%	▲ +1.3%	722	3.6%	▲ 438	▼ ▲37.8%
中南米	1,216	▼ ▲37.9%	1,796	8.3%	▲ +47.7%	2,194	11.0%	+397	▲ +22.1%
その他	30	▼ ▲90.8%	391	1.8%	▲ +1180.0%	582	2.9%	+191	▲ +48.9%
合計	26,505	+12.4%	21,737	100.0%	▲18.0%	19,950	100.0%	▲ 1,786	▲8.2%

### 3. 売上の推移（製品の種別別）

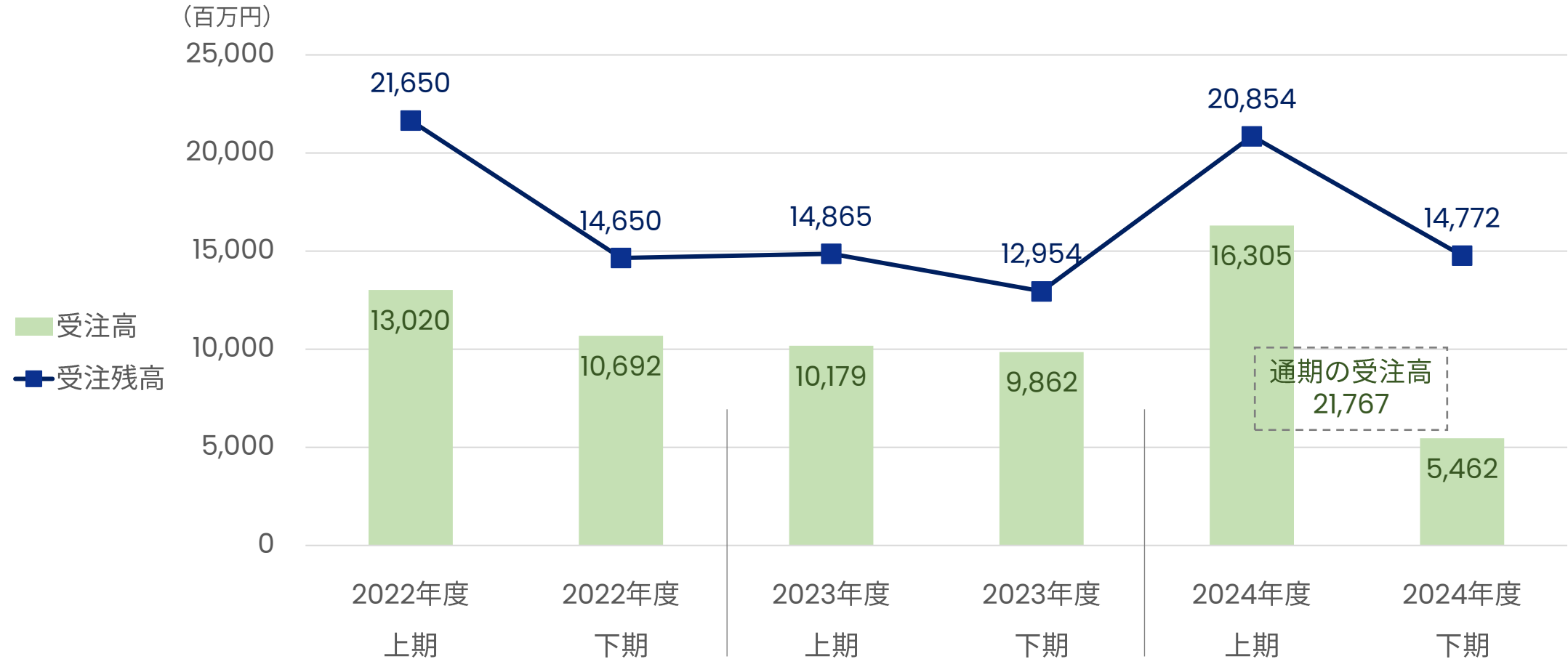
- 小児用紙おむつ製造機械は2021年度を直近のピークに減少が続いていたが、下げ止まり。
- 大人用紙おむつ製造機械は前期に大型の売上があった反動で当期は減少。

▲：前年度と比較して増加
 ▼：前年度と比較して減少

(単位：百万円)	2022年度		2023年度			2024年度			
	金額	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
								増減額	増減率
生理用ナプキン製造機械	3,825	<span style="color: blue;">▲</span> +1.9%	3,815	17.6%	<span style="color: red;">▼</span> ▲0.2%	<b>3,109</b>	15.6%	▲ 706	<span style="color: red;">▼</span> ▲18.5%
小児用紙おむつ製造機械	10,227	<span style="color: red;">▼</span> ▲8.0%	4,586	21.1%	<span style="color: red;">▼</span> ▲55.2%	<b>6,870</b>	34.4%	+2,284	<span style="color: blue;">▲</span> +49.8%
大人用紙おむつ製造機械	8,541	<span style="color: blue;">▲</span> +87.0%	10,156	46.7%	<span style="color: blue;">▲</span> +18.9%	<b>6,369</b>	31.9%	▲ 3,787	<span style="color: red;">▼</span> ▲37.3%
その他機械	1,291	<span style="color: red;">▼</span> ▲20.1%	748	3.4%	<span style="color: red;">▼</span> ▲42.1%	<b>398</b>	2.0%	▲ 349	<span style="color: red;">▼</span> ▲46.7%
部品	2,206	<span style="color: blue;">▲</span> +8.3%	2,237	10.3%	<span style="color: blue;">▲</span> +1.4%	<b>2,809</b>	14.1%	+571	<span style="color: blue;">▲</span> +25.5%
その他	413	<span style="color: red;">▼</span> ▲15.0%	193	0.9%	<span style="color: red;">▼</span> ▲53.2%	<b>393</b>	2.0%	+199	<span style="color: blue;">▲</span> +103.3%
合計	26,505	+12.4%	21,737	100.0%	▲18.0%	<b>19,950</b>	100.0%	▲ 1,786	▲8.2%

## 4. 受注動向（全体）

- 2024年度末時点の受注残高は14,772百万円。前年度末比で1,817百万円（14.0%）増加。
- 2024年度の受注高は、21,767百万円。前年度比で1,726百万円（8.6%）増加。



## 4. 受注動向（製品の種類別）

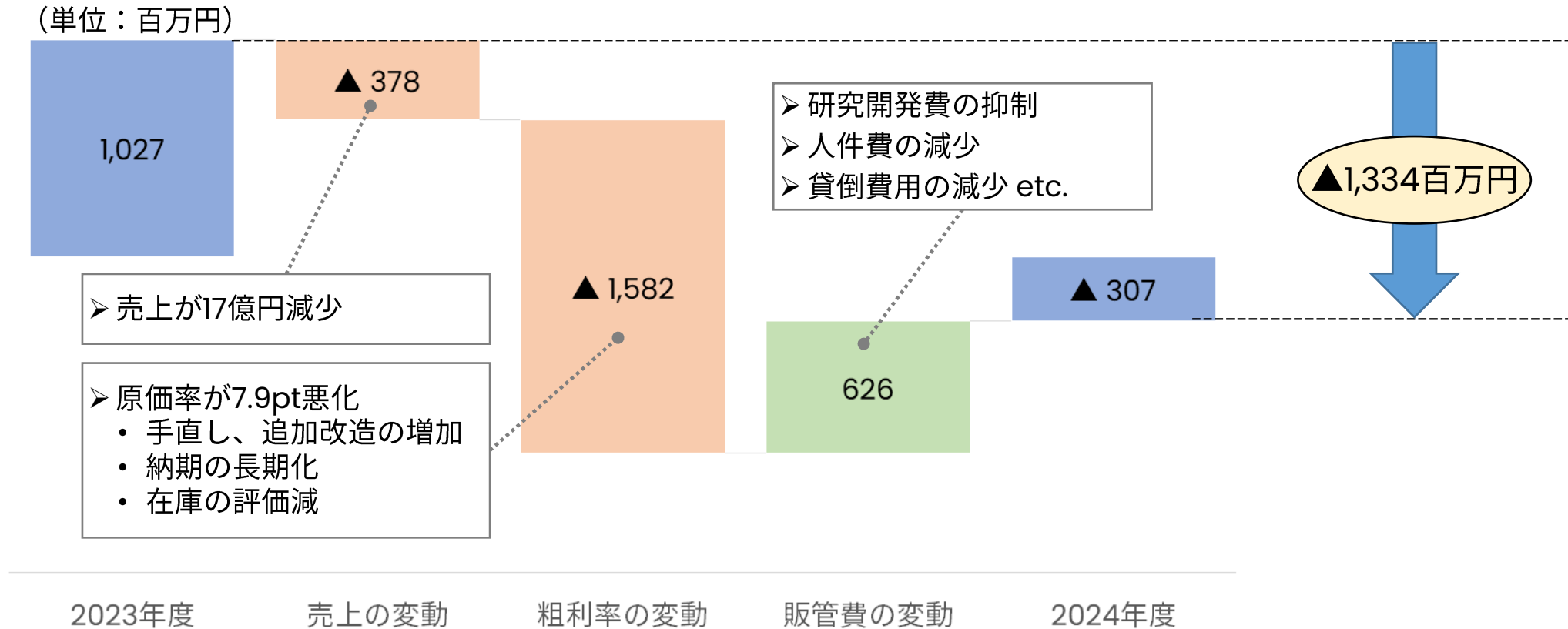
受注高 (単位：百万円)	2022年度		2023年度			2024年度			
	金額	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
								増減額	増減率
生理用ナプキン製造機械	2,642	▲27.7%	3,189	15.9%	+20.7%	<b>3,429</b>	15.8%	+240	+7.5%
小児用紙おむつ製造機械	4,830	▲59.3%	7,441	37.1%	+54.1%	<b>8,171</b>	37.5%	+730	+9.8%
大人用紙おむつ製造機械	12,369	+274.9%	6,327	31.6%	▲48.8%	<b>6,128</b>	28.2%	▲199	▲3.1%
その他機械	1,250	▲65.2%	652	3.3%	▲47.8%	<b>835</b>	3.8%	+183	+28.0%
部品	2,206	+8.3%	2,237	11.2%	+1.4%	<b>2,809</b>	12.9%	+571	+25.5%
その他	413	▲15.0%	193	1.0%	▲53.2%	<b>393</b>	1.8%	+199	+103.3%
合計	23,712	▲4.9%	20,041	100.0%	▲15.5%	<b>21,767</b>	100.0%	+1,726	+8.6%

受注残高 (単位：百万円)	2022年度		2023年度			2024年度			
	金額	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
								増減額	増減率
生理用ナプキン製造機械	2,032	▲36.8%	1,406	10.9%	▲30.8%	<b>1,725</b>	11.7%	+319	+22.8%
小児用紙おむつ製造機械	2,111	▲76.5%	4,967	38.3%	+135.2%	<b>6,268</b>	42.4%	+1,301	+26.2%
大人用紙おむつ製造機械	9,330	+134.7%	5,501	42.5%	▲41.0%	<b>5,260</b>	35.6%	▲240	▲4.4%
その他機械	1,175	▲62.7%	1,080	8.3%	▲8.1%	<b>1,517</b>	10.3%	+437	+40.5%
合計	14,650	▲24.2%	12,954	100.0%	▲11.6%	<b>14,772</b>	100.0%	+1,817	+14.0%



## 5. 営業利益の増減要因（前期比）

- 売上減少と原価率上昇（7.9pt悪化）により、売上総利益が1,961百万円の減少。
- 販管費は前期比で626百万円減少したが、売上減少・原価率上昇の影響をカバーできず営業利益は赤字。



## 6. 営業外損益・特別損益

(単位：百万円)

		2023年度	2024年度	増減額	
営業外収 益	受取利息	190	<b>191</b>	0	
	受取配当金	31	<b>16</b>	▲14	
	為替差益	172	—	▲172	円安トレンドから円高トレンドに 転換したことによる為替差損の発生
	その他の営業外収益	177	<b>104</b>	▲73	
営業外 費用	支払利息	19	<b>24</b>	4	
	社債利息	24	<b>24</b>	—	
	為替差損	—	<b>92</b>	92	不動産（旧本社土地）の売却
	その他の営業外費用	128	<b>14</b>	▲114	
特別 利益	固定資産売却益	595	<b>0</b>	▲595	保有している株式の縮減
	投資有価証券売却益	48	<b>628</b>	579	
	資産除去債務戻入益	27	—	▲27	
特別 損失	固定資産除売却損	13	<b>10</b>	▲2	
	減損損失	205	—	▲205	マスク製造機械の評価損など
	その他の特別損失	1	<b>0</b>	▲1	

# 7. 貸借対照表

(単位：百万円)	2023年度末		2024年度末		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額
流動資産	32,405	65.8%	<b>35,526</b>	67.8%	+3,120
現金及び預金	14,482	29.4%	<b>15,324</b>	29.3%	+842
売上債権	11,636	23.6%	<b>11,658</b>	22.3%	+21
棚卸資産	5,005	10.2%	<b>6,851</b>	13.1%	+1,845
その他流動資産	1,280	2.6%	<b>1,691</b>	3.2%	+411
固定資産	16,865	34.2%	<b>16,858</b>	32.2%	▲7
有形固定資産	14,594	29.6%	<b>15,152</b>	28.9%	+557
無形固定資産	647	1.3%	<b>829</b>	1.6%	+182
投資その他の資産	1,623	3.3%	<b>876</b>	1.7%	▲747
資産合計	49,271	100.0%	<b>52,384</b>	100.0%	+3,113
負債	14,519	29.5%	<b>18,116</b>	34.6%	+3,596
仕入債務	3,534	7.2%	<b>4,202</b>	8.0%	+667
有利子負債	7,531	15.3%	<b>7,572</b>	14.5%	+41
契約負債・前受金	1,794	3.6%	<b>3,641</b>	7.0%	+1,846
その他負債	1,658	3.4%	<b>2,699</b>	5.2%	+1,041
純資産	34,752	70.5%	<b>34,268</b>	65.4%	▲483
負債純資産合計	49,271	100.0%	<b>52,384</b>	100.0%	+3,113

▶ 仕掛品：+1,372  
 ▶ 原材料及び貯蔵品：+489

▶ 土地：+247  
 ▶ 建物：+261

▶ 投資有価証券：▲832

▶ 繰延税金負債：+632  
 ▶ 受注損失引当金：+286

	2023年度	2024年度
DEレシオ	0.22倍	0.22倍
自己資本比率	70.4%	65.3%

## 8. キャッシュ・フロー

- 契約負債の増加等により、営業キャッシュ・フローは1,091百万円の収入。
- 定期預金の減少や投資有価証券の売却により、投資CFは1,136百万円の収入。

(単位：百万円)	2023年度	2024年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 322	<b>1,091</b>	1,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,115	<b>1,136</b>	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,059	<b>▲ 772</b>	287
現金及び現金同等物の増減額	43	<b>1,808</b>	1,764
現金及び現金同等物の期末残高	7,923	<b>9,732</b>	1,808
フリー・キャッシュ・フロー	792	<b>2,228</b>	1,435

### 当期のキャッシュ・フローの主な内訳

#### 営業キャッシュ・フロー

- 税金等調整前当期純利益：468
- 減価償却費：842
- 投資有価証券売却益：▲628
- 棚卸資産の増加：▲945
- 契約負債の増加：1,424

#### 投資キャッシュ・フロー

- 定期預金の減少：1,507
- 有形固定資産の取得：▲630
- 投資有価証券の売却：671

#### 財務キャッシュ・フロー

- 配当金の支払い：▲396
- 長期借入金の返済：▲323

2

2024年度のトピック紹介

## ■コットン製品の製造事業に進出

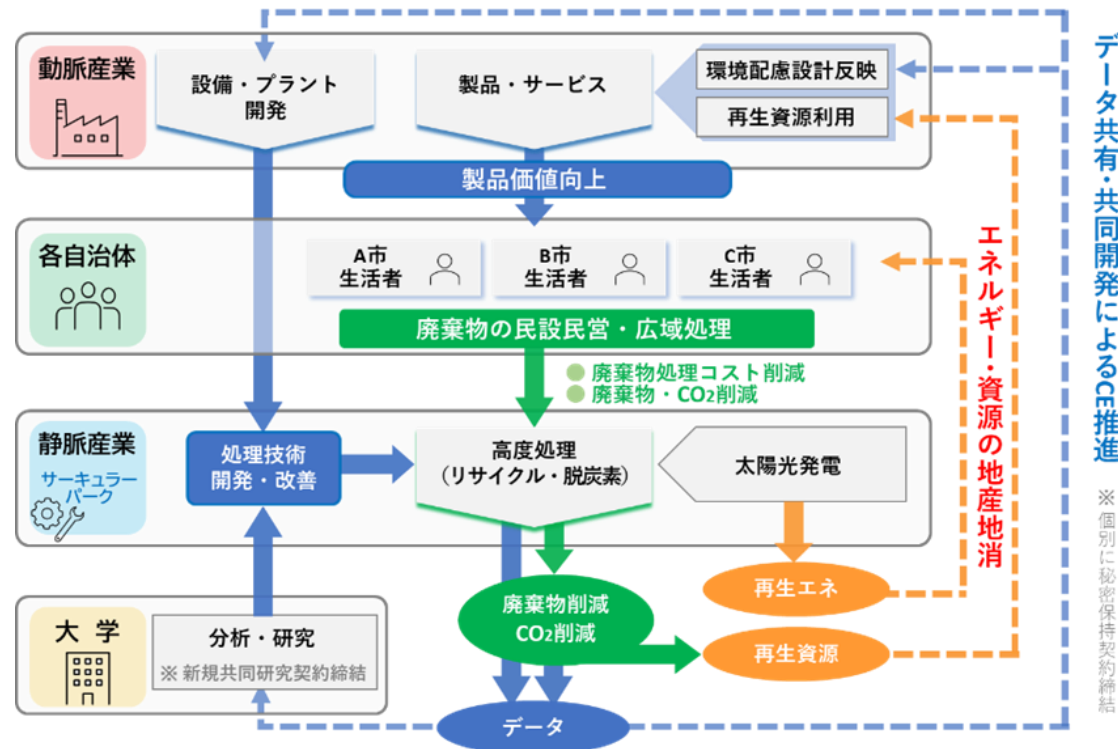
- 2024年2月21日付で、当社子会社である株式会社COTEXが、テイメン株式会社よりコットン製品の製造事業を譲り受けました。
- テイメン株式会社は、国内で数少ない後晒し方式によるコットン製品の製造・販売会社として伝統的な製法を継承し、肌触りや吸水力、保水力などに優れたコットン製品を生み出してきました。
- 本事業譲受を通じて、衛生用品の素材として広く利用されているコットンの製造や機能開発に取り組み、衛生用品の付加価値向上にこれまで以上に貢献していきます。  
また、天然素材であるコットンの持つ可能性を追求し、衛生用品以外の分野での活用にも取り組んでまいります。



会社名	株式会社COTEX
所在地	岡山県倉敷市連島町連島110番地35
設立日	2024年1月23日
代表者	梅林豊志
資本金	10百万円
事業内容	コットン製品の製造販売
株主	瑞光：100%

## ■使用済み紙おむつのリサイクル技術に関する実証実験を開始

- 使用済み紙おむつや一般廃棄物のリサイクル技術推進を目的とし、産・官・学の連携による実証実験を開始しました。
- 2024年5月に「使用済み紙おむつのリサイクル技術推進に関する連携協定」を締結。2025年2月には、さらにその取り組みを拡大し「一般廃棄物リサイクル技術推進に関するサーキュラーエコノミーパートナーシップ」を締結しました。



使用済み紙おむつ燃料化装置



## ■DELTA S.R.L. (現ZUIKO DELTA S.R.L.) の子会社化

- 2024年6月にイタリアの衛生用品製造機械メーカーであるDELTA S.R.L.の持分を取得し子会社化しました。
- DELTA社は、2002年にイタリアで設立され、欧州や米国、南米、アフリカ等への販売実績を有しています。  
また、当社グループとは異なる価格帯での製品展開をしており、補完関係が期待されます。
- DELTA社を当社グループの一員として迎えることで、欧州地域の売上拡大に資するとともに、当社グループの製品ラインナップ拡充を通じて、より幅広いお客さまへの製品供給に貢献すると考えております。
- 2024年度下期より、瑞光グループの連結P/Lに反映されています。



会社名	ZUIKO DELTA S.R.L.
所在地	Via Gerola, 34, 26010 Fiesco CR Italy
設立日	2002年4月26日
代表者	中嶋義浩
資本金	80,000ユーロ
事業内容	衛生用品の製造機械の製造・販売
株主	瑞光：90%、Angelo Ghidelli：10%



## ■防護服の自動製造設備への参入を決定

- 2024年10月に、防護服を原材料から製品まで一貫で自動製造できる設備の開発・販売に乗り出すことを決定しました。
- 背景
  - 防護服の製造は、縫製工場での労働集約的な製造工程が一般的
  - 当社は、不織布等の原反状の原材料から最終製品までの高速自動生産を可能とする技術・ノウハウを蓄積⇒当社の技術を活用することで、製造工程の効率化を実現

- 防護服製造設備の販売先に対して、マイノリティ出資を実施しました。

当該設備のユーザーと緊密に協力することにより、  
更なる改良や機能向上に役立つと期待されます。

- 業績への貢献

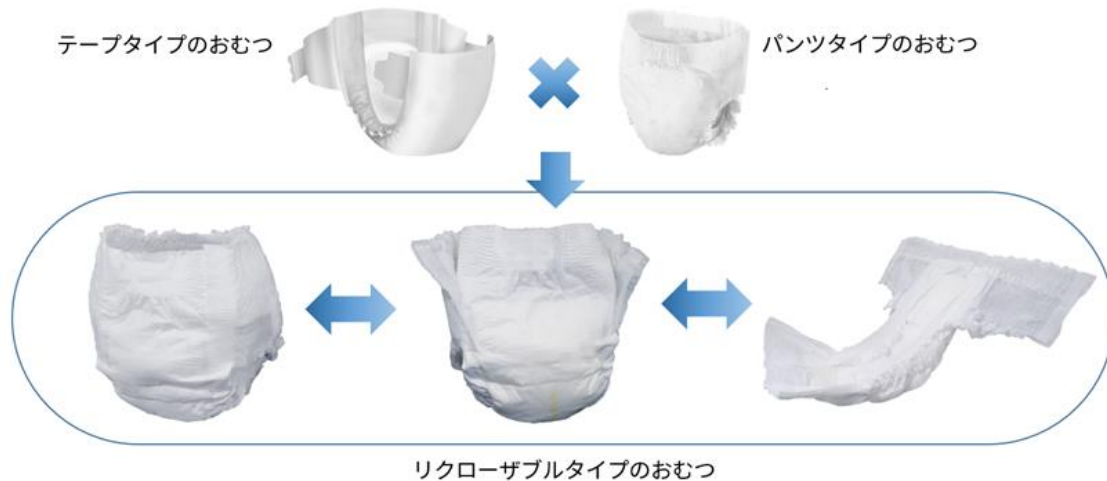
- 1号機は2026年の販売を予定していますが、  
工事進行基準の適用により2025年度から  
収益貢献が始まると見込んでいます。

### <出資した会社の概要>

会社名	PROGA ZUIKO CORPORATION
所在地	#511, 340-38 Hosso-ro, Ilsandong-gu, Goyang-si, Kyunggi-Do, Republic of Korea
設立日	2024年9月9日
代表者	Doo Hong Kim
事業内容	個人防護具の製造・販売
瑞光の出資比率	30.8%

## ■ 『リクローザブルタイプ』のおむつ製造機械が大坂発明協会会長賞を受賞

- 2024年度の近畿地方発明表彰において、当社の開発した『使い捨ておむつのフラップ折り畳みシステム』が大坂発明協会会長賞を受賞しました。
- 紙おむつには一般的に『テープタイプ（何度もテープを付け剥がしすることが可能）』と『パンツタイプ（胴回りや脚周りにフィットしやすく、履きやすく履かせやすい特性）』があり、その両タイプのメリットを活かした新しい『リクローザブルタイプ』のおむつについて、量産可能な機械を開発いたしました。
- 『リクローザブルタイプ』のおむつは、テープを着脱して幅広いサイズ調整やフィット性を高めることができ、履きやすく履かせやすい特徴を有しております。今後も既存の枠にとらわれず、新たな技術に挑戦し続けます。



3

2025年度の業績予想

# 1. 業績予想

- 売上は緩やかな回復に留まり22,000百万円（前期比+2,049百万円）を計画。
- 原価率を低下させることで営業赤字を脱却し、営業利益率4.5%まで回復を目指す。

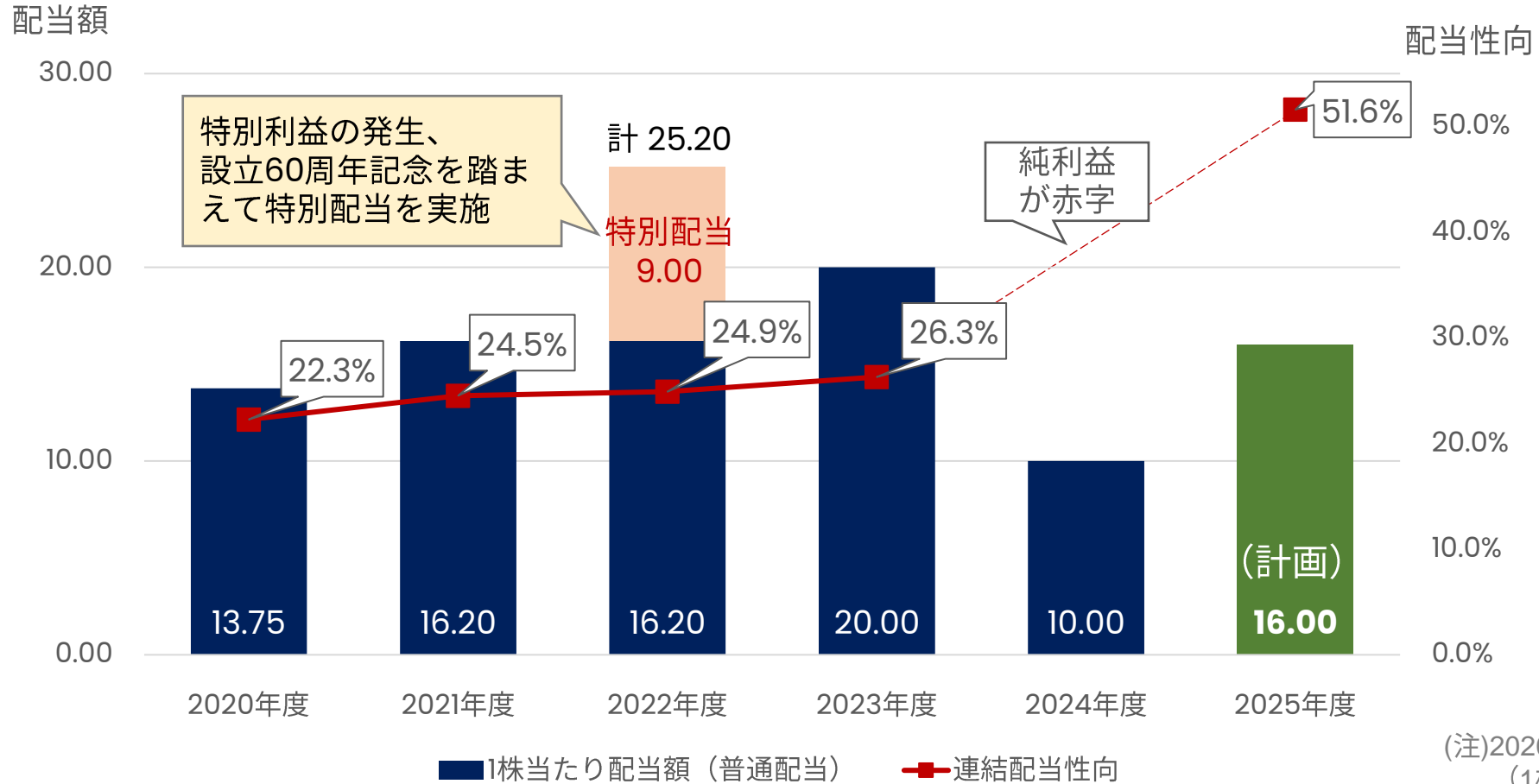
(単位：百万円)	2024年度実績		2025年度業績予想			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	19,950	100.0%	<b>22,000</b>	100.0%	+2,049	+10.3%
売上総利益	2,643	13.3%	<b>3,960</b>	18.0%	+1,316	+49.8%
販売費及び一般管理費	2,950	14.8%	<b>2,960</b>	13.5%	+9	+0.3%
営業利益	▲ 307	▲1.5%	<b>1,000</b>	4.5%	+1,307	—
経常利益	▲ 149	▲0.7%	<b>1,050</b>	4.8%	+1,199	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 788	▲4.0%	<b>820</b>	3.7%	+1,608	—
1株当たり当期純利益	▲ 29.44円	—	<b>30.98円</b>	—	+60.43円	—

- 需要動向は軟調
- 前期に子会社化した ZUIKO DELTA（欧州）の売上が貢献

- 原価率を4.7pt改善
- 固定費の切下げ
  - 原材料費や外注費用の見直し
  - 出荷リードタイムの適正化

## 2. 配当計画

- 連結配当性向30%を目標に配当水準を決定する基本方針は従来通り。
- ただし、自己資本を適正化し資本効率を向上させる観点から、次の3ヶ年は株主還元を強化する。



(注)2020年8月に実施した株式分割 (1株→4株) を考慮して配当金額を修正済み。

# Appendix

# 1. 売上の推移（地域別／半期ごと）

↑：直前の半期と比較して増加

↓：直前の半期と比較して減少

(単位：百万円)	2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期		2023年度下期		2024年度上期		2024年度下期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
日本	↓ 2,635	29.9%	↑ 2,786	15.8%	↓ 2,491	25.0%	↓ 2,226	18.9%	↓ 1,333	15.9%	↑ 2,495	21.6%
中国	↓ 1,701	19.3%	↑ 7,848	44.4%	↓ 2,286	23.0%	↑ 3,529	30.0%	↓ 1,444	17.2%	↑ 2,062	17.9%
アジア	↓ 2,113	24.0%	↑ 4,405	24.9%	↓ 2,416	24.2%	↑ 2,645	22.5%	↑ 2,877	34.2%	↑ 3,225	27.9%
欧州	↑ 1,050	11.9%	↑ 1,571	8.9%	↓ 1,518	15.2%	↓ 1,274	10.8%	↑ 1,371	16.3%	↑ 1,642	14.2%
北米	↑ 788	8.9%	↓ 357	2.0%	↑ 587	5.9%	↓ 573	4.9%	↓ 187	2.2%	↑ 534	4.6%
中南米	↓ 516	5.9%	↑ 699	4.0%	↓ 371	3.7%	↑ 1,424	12.1%	↓ 912	10.9%	↑ 1,281	11.1%
その他	↓ 8	0.1%	↑ 21	0.1%	↑ 292	2.9%	↓ 99	0.8%	↑ 279	3.3%	↑ 302	2.6%
合計	8,813	100.0%	17,691	100.0%	9,964	100.0%	11,773	100.0%	8,405	100.0%	11,544	100.0%

コロナ禍によるロックダウン

## 2. 売上の推移（製品の種別別／半期ごと）

↗ : 直前の半期と比較して増加

↘ : 直前の半期と比較して減少

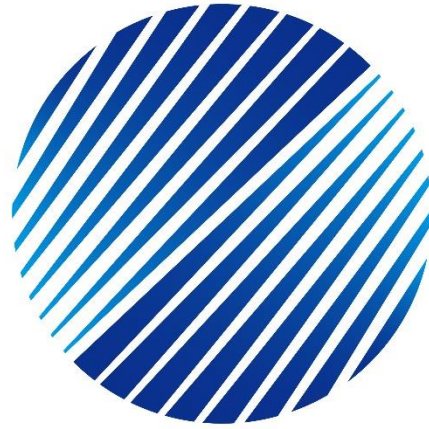
(単位：百万円)

	2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期		2023年度下期		2024年度上期		2024年度下期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
生理用ナプキン製造機械	↘ 461	5.2%	↗ 3,363	19.0%	↘ 1,694	17.0%	↗ 2,121	18.0%	↘ 1,627	19.4%	↘ 1,482	12.8%
小児用紙おむつ製造機械	↘ 3,524	40.0%	↗ 6,703	37.9%	↘ 1,485	14.9%	↗ 3,100	26.3%	↘ 2,730	32.5%	↗ 4,140	35.9%
大人用紙おむつ製造機械	↘ 2,905	33.0%	↗ 5,635	31.9%	↘ 5,156	51.8%	↘ 4,999	42.5%	↘ 1,919	22.8%	↗ 4,449	38.5%
その他機械	↘ 527	6.0%	↗ 764	4.3%	↘ 480	4.8%	↘ 267	2.3%	↘ 247	2.9%	↘ 150	1.3%
部品	↘ 1,156	13.1%	↘ 1,049	5.9%	↘ 1,039	10.4%	↗ 1,197	10.2%	↗ 1,698	20.2%	↘ 1,110	9.6%
その他	↘ 237	2.7%	↘ 175	1.0%	↘ 106	1.1%	↘ 86	0.7%	↗ 181	2.2%	↗ 211	1.8%
合計	8,813	100.0%	17,691	100.0%	9,964	100.0%	11,773	100.0%	8,405	100.0%	11,544	100.0%



### 3. 受注動向（製品の種類別／半期毎）

受注高 (単位：百万円)	2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期		2023年度下期		2024年度上期		2024年度下期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
生理用ナプキン製造機械	718	5.5%	1,924	18.0%	1,838	18.1%	1,350	13.7%	<b>3,124</b>	19.2%	<b>305</b>	5.6%
小児用紙おむつ製造機械	5,067	38.9%	▲ 237	-2.2%	2,881	28.3%	4,559	46.2%	<b>6,615</b>	40.6%	<b>1,556</b>	28.5%
大人用紙おむつ製造機械	5,165	39.7%	7,203	67.4%	3,681	36.2%	2,645	26.8%	<b>4,445</b>	27.3%	<b>1,682</b>	30.8%
その他機械	675	5.2%	575	5.4%	630	6.2%	21	0.2%	<b>240</b>	1.5%	<b>595</b>	10.9%
部品	1,156	8.9%	1,049	9.8%	1,039	10.2%	1,197	12.1%	<b>1,698</b>	10.4%	<b>1,110</b>	20.3%
その他	237	1.8%	175	1.6%	106	1.1%	86	0.9%	<b>181</b>	1.1%	<b>211</b>	3.9%
合計	13,020	100.0%	10,692	100.0%	10,179	100.0%	9,862	100.0%	<b>16,305</b>	100.0%	<b>5,462</b>	100.0%
受注残高 (単位：百万円)	2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期		2023年度下期		2024年度上期		2024年度下期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
生理用ナプキン製造機械	3,471	16.0%	2,032	13.9%	2,176	14.6%	1,406	10.9%	<b>2,903</b>	13.9%	<b>1,725</b>	11.7%
小児用紙おむつ製造機械	9,051	41.8%	2,111	14.4%	3,507	23.6%	4,967	38.3%	<b>8,851</b>	42.4%	<b>6,268</b>	42.4%
大人用紙おむつ製造機械	7,762	35.9%	9,330	63.7%	7,855	52.8%	5,501	42.5%	<b>8,027</b>	38.5%	<b>5,260</b>	35.6%
その他機械	1,364	6.3%	1,175	8.0%	1,325	8.9%	1,080	8.3%	<b>1,072</b>	5.1%	<b>1,517</b>	10.3%
合計	21,650	100.0%	14,650	100.0%	14,865	100.0%	12,954	100.0%	<b>20,854</b>	100.0%	<b>14,772</b>	100.0%



**ZUIKO**

IRに関するお問い合わせ先

株式会社瑞光 経営戦略部

電話：072-648-2215

e-mail：[ir-contactus@zuiko.co.jp](mailto:ir-contactus@zuiko.co.jp)

本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性があります。